

(2026年4月23日発表)

三茶祖に茶業界の繁栄を祈願する「献茶式」を開催

【市長の出席 有】

【趣旨・背景】

- ・献茶式は、1948年の静岡茶商工業協同組合創立から続く伝統行事で、当初は、八十八夜の吉日に行われていました。その後、新茶初取引当日または初取引日付近に実施されるようになり、現在まで受け継がれています。
- ・臨済寺(りんざいじ)の茶祖堂(ちゃそどう)に安置されている三茶祖(さんちゃそ)の遺徳をしのび、静岡市内で生産されたお茶を献上して感謝の意を表するとともに、今後の静岡市の茶業界のさらなる繁栄と発展を祈願する献茶式を執り行います。

【開催概要】

日時:2026年4月28日(火) 14時~15時 ※雨天決行

会場:臨済寺 茶祖堂(葵区大岩町7-1)

内容:茶業関係者等による三茶祖への献茶、老師による焼香および読経、参列者による焼香

参加者:茶業関係者 約50人

主催:静岡茶商工業協同組合

【三茶祖とは】

①栄西禅師(ようさいぜんじ)

日本に喫茶の習慣を伝えたことから「日本茶の祖」とされています。

②聖一国師(しょういちこくし)

現在の枋沢(葵区)に生まれ、宋(中国)に留学した際、持ち帰ったお茶の種を足久保(葵区)に蒔いたと伝えられ、「静岡茶の祖」とされています。

③大応国師(だいおうこくし)

喫茶儀礼を体系化し、茶の作法を広めたとされています。

【取材について】

- ・事前の連絡等は不要です。直接、会場にお越しください。
- ・お車でお越しの場合は、臨済寺駐車場(葵区大岩町7-7)をご利用ください。

【問い合わせ先】※献茶式に関すること

静岡茶商工業協同組合 担当:大塚 電話:054-271-1955

【担当】

経済局 農政部 農業政策課(清水庁舎 6階)、担当:高橋、尾下 電話:054-354-2089